

2016年9月30日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
産業振興センター

住宅および店舗・施設などの建築物に関する
建材・部材・設備・インテリア・サービスが集結する専門展示会
建築+インテリアWEEK

「第38回ジャパンホームショー／第2回 店舗・施設展」

昨年より約1.3倍の規模で10/26～28 東京ビッグサイトで開催

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村 正己）は、10月26日（水）～28日（金）の3日間、東京ビッグサイト（東京都江東区）で、「第38回ジャパンホームショー」「第2回 店舗・施設展」を開催します。本展は、住宅および店舗・施設など建築物に関する専門展示会です。

今年の開催テーマは「住宅、店舗・施設に関する建材・製品・設備・インテリアの相乗効果」。

昨年まで開催していた「Japan Home & Building Show」を今年は「第38回ジャパンホームショー」「第2回 店舗・施設展」として開催します。両展を合わせた会場規模は昨年の約1.3倍。新しい集中展示を2展開催し、出展製品の幅も広がりました。

また、今回は「建築+インテリア WEEK」の総称のもと、計5つの専門展示会として開催。これまで以上に建築物に関する幅広い製品を比較することのできる展示構成となっています。住宅・建築・デザイン・インテリア業界から3日間で45,000名の来場を見込んでいます。

新規出展159社（※）を含む出展各社より建築物に関する最新の製品・サービスが紹介されるほか、約80本の講演会・セミナーを行います。また、主催者企画として4つの空間展示を行います。

（詳細は、次頁以降の注目企画のご案内をご覧ください）

現在、公式ホームページで展示会入場料3,000円が無料になる来場事前登録を受け付けています。また、各種講演会やセミナーについても公式ホームページから事前申し込みができます。

※新規出展は、前回（2015年）出展のなかった企業・団体を指します。



開催概要

（9月30日現在）

展示会名	第38回ジャパンホームショー http://www.jma.or.jp/homeshow/ 第2回 店舗・施設展 http://www.jma.or.jp/shop/
開催期間	2016年10月26日(水)～28日(金) 10:00～17:00
会場	東京ビッグサイト ジャパンホームショー：東1～3ホール／店舗・施設展：東5,6ホール
主催	一般社団法人日本能率協会
展示規模	550社・団体／1013ブース（前回：503社・団体／930ブース）
集中展示【NEW】	ジャパンホームショー：断熱建材・システム特集／店舗・施設展：店舗リニューアル特集
出展製品	建材・部材、省エネ住宅関連、エクステリア関連、インテリア関連、演出関連製品ほか
来場予定者数	45,000名（「建築+インテリアWEEK」全体）
来場対象	ハウスメーカー、工務店、設計・デザイン事務所、ゼネコン、自治体、業界関係者ほか
合同開催展	【建築+インテリアWEEK】 ※ジャパンホームショー、店舗・施設展とあわせ、計5つの専門展示会で構成 「The 35th JAPANTEX2016（ジャパンテックス）」インテリア・ファブリックスの専門展示会 「クリーンEXPO2016」施設清掃・メンテナンスに関する専門展示会 「トイレ・バス・キッチン空間フェア」水まわり空間に関する専門展示会

ジャパンホームショー講演会（注目セッション一部ご紹介）

会場：東1ホール内特設会場 座席数：150席

聴講：無料（ホームページ <http://www.jma.or.jp/homeshow/>からの事前登録制）

※都合により講演内容に変更がある場合があります。

10/26（水）10:30～12:00 **「既存住宅流通・リフォーム市場の活性化」**

10:30～10:45 講演

経済産業省における住宅産業政策の動向

経済産業省 製造産業局 生活製品課 住宅産業室長 杉浦 宏美

10:45～12:00 パネルディスカッション

『ベストプラクティスからみる先進的なリフォームビジネスモデル』

パネリスト：平成27年度先進的なリフォーム事業者表彰受賞者

喜多ハウジング(株) 代表取締役社長 西谷 清

住友林業ホームテック(株) 常務執行役員 建築デザイン開発部 部長

大澤 康人

コーディネータ：(株)リフォーム産業新聞社 代表取締役社長 加覧 光次郎

10/26（水）13:30～14:30 **『木の時代』**

私達は今、「場所」を主役とする社会に生きています。「商品」と「国家」を枠組みとした工業化の時代は去りました。世界は、境界を越えグローバルに活動する企業と、小回りのきく、地域に根ざした企業が生き残る時代へと転換しています。日本では、その過渡期に起きた東日本大震災が、それまで普遍主義によって分断されていた人間と大地の関係を露にしました。木を使った建築は、そんな人と場所をつなぎ直す中心的な媒介となるのです。

The Courier 隈研吾建築都市設計事務所 建築家・東京大学教授 隈 研吾

10/28（金）10:30～11:30 **『住宅・建築物の省エネルギー対策を巡る最新動向』**

COP21 において採択されたパリ協定を踏まえて、地球温暖化対策計画が策定された。その中で、住宅・建築物分野においては、2030年度に2013年度比でCO2排出量を約40%削減するという目標を掲げている。目標達成に向けた省エネルギー対策の取り組みなど、国の最新動向について説明する。

国土交通省 住宅局 住宅生産課 建築環境企画室・企画専門官 福井 武夫

店舗・施設展 講演会（注目セッション一部ご紹介）

会場：東5ホール内特設会場 座席数：150席

聴講：無料（ホームページ <http://www.jma.or.jp/shop/>からの事前登録制）

※都合により講演内容に変更がある場合があります。

10/28（金）14:20～15:10 **『場所をつくること・方法をつくること』**

2016年春に開業したJR新宿駅新南エリア（改札内外コンコース・改札前広場・

商業施設 NEWoMan）の事例を中心に、近作の設計において考えたこととお話しします。

(株)シナト 代表取締役 大野 力

主催者企画（注目企画 一部ご紹介）

ジャパンホームショー 今日の住まいを考える ～The House of Now!～ 東1ホール内 (1-V07)
プロデュース：ZERO FIRST DESIGN

5つのシーンから提案する！新しい住まい方！

これからの住まいとインテリアを考える上で注目すべき最新の住まい方動向からピックアップしたテーマを設定。テーマ設定に基づき、ゼロファーストデザインが発信する最新のデザイントレンドを導入したインテリアシーンを提案いたします。

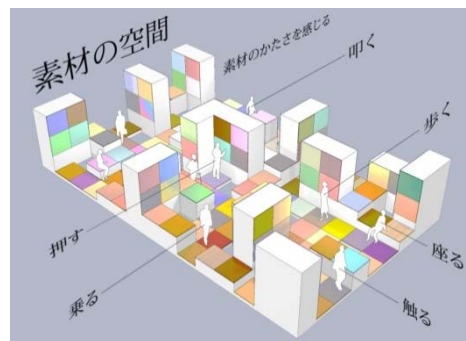


イメージ

店舗・施設展 「素材の空間」～素材のかたさをどう感じるか～ 東5ホール内 (5-G01)
プロデュース：建築家 山本想太郎氏

建築・インテリア関連展示会の新しい体験提案！
会場の200製品が集まる！ダイジェスト企画！！

昨年から開催している本企画は、製品を素材という視点から提案し、出展者ブースとは異なる角度での製品展示を行います。製品のイメージを感じる時、私たちは何を基準にして判断しているのでしょうか。製品は製品としてだけではなく、空間自体のイメージをも決定するものであるといえます。本空間にて、床や壁面、テーブル、座面に展示された200製品に触れながら、‘かたさ’という視点から、製品が本来もつ素材としての可能性を皆様に再認識していただけたらと思います。



イメージ

店舗・施設展 アカリ・イメージジュ Designer+plus 東5ホール内 (5-V01)
プロデュース：照明デザイナー 長根 寛氏

光から選ぶモノや仕上材 空間は光を反射したり透過したりするモノや仕上材で構成されています。光は様々な情報を人に届け心を動かします。感情をサポートコントロールするために、光からモノや仕上材をセレクトしてみる。デザイナーの使用実施例と共にご紹介します。

◆トークショー開催決定！

10/28 (金) 14:00～15:00 『光と影、そしてその間の光のデザイン』

光と影のコントラストを描く以外に、その間の光の階調を美しく表すことによって、繊細な感情が空間に生まれます。スピーカー：(有) シリウスライティングオフィス 代表取締役 戸恒 浩人氏

取材のご案内

住まい、店舗・施設などの建築物とインテリアに関する製品・サービスが一堂に会するこの機会、報道機関の皆様の取材をお待ちしています。

<プレス登録方法>

取材にあたっては展示会場でのプレス登録が必要です。名刺を2枚ご用意いただき、来場当日にプレスルームでお手続きをお願いいたします。また、併設セミナーを聴講される場合は、プレス登録をお済ませのうえ、開始時刻にあわせて直接会場にお越しください。

※テレビ・ラジオ媒体の取材については、事前に下記事務局までご連絡ください。

<プレスルーム>

東京ビッグサイト 東1ホール 2F 商談室(2) 10/26～28 各日 9:30～17:00

【本件に関する問い合わせ先】 ジャパンホームショー／店舗・施設展 事務局

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター (担当：栗橋、山口、堀内、吉田)

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-2-2 住友商事竹橋ビル 14階

TEL: 03-3434-1988 / FAX: 03-3434-8076 / E-mail: jhbs@convention.jma.or.jp

※取材に関するお問い合わせは、広報室(担当：斎藤 / TEL: 03-3434-8620)へお願いします。